

第**73**期第2四半期報告書 2015年4月1日>>>2015年9月30日

株式会社村上開明堂

証券コード: 7292

# 私たちは、社業を通じて 「人の役に立つ」村上開明堂を 目指します。

「もの」に込める"技術"と"思い"、 企業活動を通じて「絆」を結び、 社会に「幸せ」を提供し、輝く未来をつくります。 世界のMurakami 「日本」から「世界」へ!! バックミラーをはじめとする 安全視認システムの世界 トップメーカーとなる。

ものづくりのMurakami 「つくる」から「創造」へ!! 技術革新に努め、新規事業の 創出を行なう。 社会のMurakami 『会社』から「社会」へ!! 安全・快適な社会づくり、 全ての人々に貢献できる企業

私たちのMurakami 「もの」から「ひと」へ!! 全ての社員の幸せを追求する 企業となる。

#### **「ミラーシステム事業**

自動車用バックミラーは、コンパクトなボディに薄膜・機構・電気系といった多様な技術で構成されています。この複合システムを一貫体制で自社開発・設計・生産している専門メーカーは世界でも稀で、当社はその先駆けといえます。ミラーに特化した専門技術と、次世代ミラーを実現する開発力で、国内の主要自動車メーカー各社から信頼をいただいています。近年では海外展開に注力しており、国内シェアNo.1から世界トップメーカーへの飛躍を目指しています。

#### オプトロニクス事業

高精度の光学薄膜技術をはじめ、ミラーシステム事業で培った多様な技術力を活かして、より幅広い分野にアプローチするオプトロニクス事業。OA機器に組み込まれる高反射ミラーや、映像機器に用いるダイクロイックミラー、自動車のヘッドアップディスプレイに組み込まれる曲面ガラスミラーなど、多様な機能を持つミラー・フィルター類を中心とした光学機器用部品の製造を行っています。ミラーシステムと同様、開発から生産までの一貫体制を強みとして、お客様の要望に合わせた柔軟な提案力で対応します。

#### その他事業

創業当時からの事業の流れを汲む、ガラス建材を中心とした住宅 関連事業を筆頭に、樹脂原料販売、物流・運送、人材派遣など、 お客様のニーズに応じて多様な事業を関連会社で展開。これから も各事業のネットワーク網を拡充し、グローバルカンパニー・村 上開明堂を支えていきます。

# トピックス ~CSR活動報告~

#### ●防災用備蓄食料品をフードバンクふじのくにへ寄贈

当社では、防災用品の備蓄等の災害対策を行なっていますが、そのうち入替時期を迎えた食料品(缶詰・飲料水等)を、「NPO法人フードバンクふじのくに」に寄贈させていただきました。これらの食料品は、支援団体を通じて生活困窮者や児童養護施設等へ無償で提供されます。





#### ②エコキャップ運動

当社では、2013年4月より、エコキャップ運動 (ペットボトルキャップのリサイクル)を全社で 行なっています。本年4月から9月中に回収した 約18,500個 (ワクチン約22人分) のエコキャッ

プを10月28日に静岡社会福祉協議会を通じて、「NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」に寄付させていただきました。





# 社長ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜わり厚くお 礼申し上げます。

さて、当社第73期第2四半期(2015年4月1日から2015年9月30日まで)の事業の概況につきまして、ここにご報告申し上げます。

## 当第2四半期の経営成績

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、経済対策の効果や円高の是正等により、企業収益の改善や設備投資の持ち直しが見られ、緩やかながら回復基調で推移いたしました。また、世界経済は、中国等のアジア新興国では成長に鈍化が見られたものの、米国の景気回復や欧州経済の持ち直し等により、全体としては堅調に推移いたしました。

主要取引先であります自動車業界においては、国内では 軽自動車税増税等による需要の落ち込みにより自動車全体 の生産台数は前年に比べ減少いたしました。また、海外に おいては、米国での自動車生産台数は堅調に推移したもの の、アジア全域での自動車生産台数は低調に推移いたしま した。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は、国内における自動車用バックミラー販売数量の減少による影響があったものの、海外での売上増と為替換算上の影響により、31,805百万円(前年同期比8.3%増)となりました。利益につきましても海外の売上増と為替換算上の影響により、営業利益は2,729百万円(前年同期比13.1%増)、経常利益は2,967百万円(前年同期比4.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,095百万円(前年同期比10.9%増)となりました。

## セグメント別の概況

日本では、主力の自動車用バックミラーの販売が減少した結果、売上高は17,108百万円(前年同期比1.1%減)となり、営業利益は売上減の影響に加え、減価償却費、欧州事務所開設費用の増加もあり1,096百万円(前年同期比16.1%減)となりました。

アジアでは、中国における自動車用バックミラーの売上 増や為替換算上の影響等により、売上高は8,690百万円(前 年同期比16.0%増)となり、営業利益は、967百万円(前 年同期比41.7%増)となりました。

北米では、米国における自動車用バックミラーの売上増や為替換算上の影響等により、売上高は6,006百万円(前年同期比31.0%増)となりました。営業利益は、メキシコ新会社での立上げ費用もあり、404百万円(前年同期比0.0%減)となりました。

中間配当につきましては、11月10日の取締役会におきまして、1株につき13円と決定いたしましたので、お受け取

りくださいますよう ご案内申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

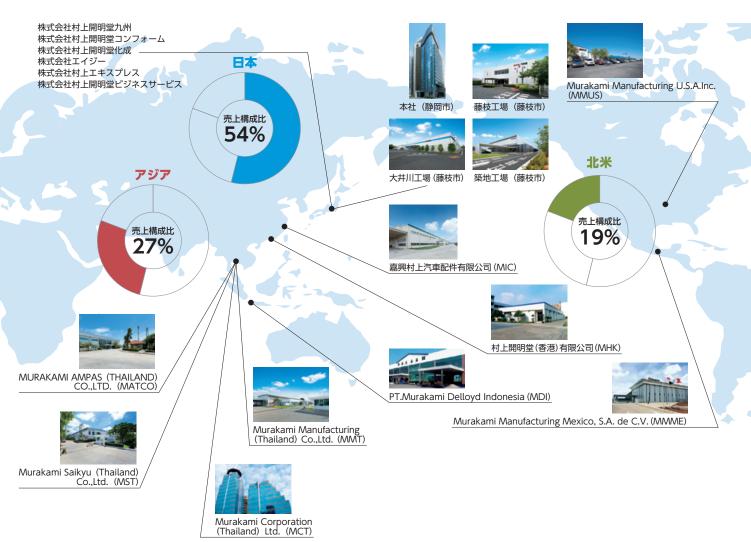


2015年12月

代表取締役社長村上太郎

# 各国の地域性に適応し、 村上品質を世界へ。

国内自動車メーカーの世界戦略を見据え、 海外5か国の生産体制確立を進めています。 生産体制や市場戦略は現地の実情に照準を合わせつつも、 村上のものづくりマインドと世界トップクラスの品質は 一貫して踏襲しています。販路も日本に留まりません。 海外企業へも積極的に拡大しています。



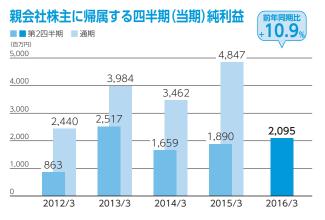
5

# 連結財務ハイライト

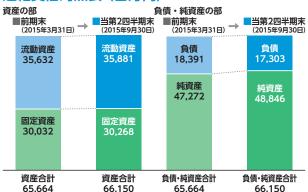
# 連結財務諸表の概要



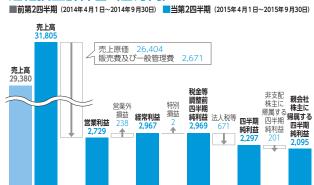




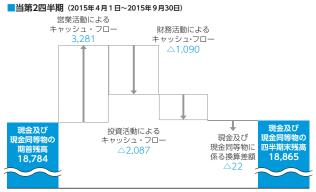
#### 連結貸借対照表(百万円)



#### 連結損益計算書(百万円)



## 連結キャッシュ・フロー計算書(百万円)



8

#### 会社の概要

商 号 株式会社村上開明堂 設 立 昭和23年3月27日 資 本 金 3,165,445,000円

発 行 済 13,100,000株 株式総数

自動車用バックミラー、ファインガラスの製造及び

販売、外壁・硝子の施工、住宅リフォーム

従業員数 連結: 2.745名 単体: 909名

# 役員

#### 取締役

事業内容

取締役社長 村上太郎 (代表取締役) 専務取締役 冨 野 文 夫 吉 村 勝 行 専 務 取 締 役 常務取締役 奥 野 雅 治 取締役相談役 村 上 英 締 役 望月義 人 取 本 美 敏 役 沖 取 締 ※取 締 役岩崎清悟

(注) ※印の取締役は、会社法第2条第15号 に定める社外取締役であります。

#### 執行役員

常務執行役員 鈴谷川 中新 ( 行 猛 が ) を 長谷川 ローデンバーグ 明朝 行 行 役 役 員 員 員 員 関 村 村 谷 田 教 行 行 役 役 員 首 前 田 休 ( 年 ) 年 ) 年 ( 日 ) 日 (

#### 監査役

監 査 増 井 邦 夫 常勤 ( ) 役小室太郎 ※監 査 役 齍 藤 安彦 ※監 杳 ※監 査 役 神谷聰一郎 役石橋三洋 査 (注) ※印の監査役は、会社法第2条第16号 に定める社外監査役であります。

#### 主要な事業所及び工場

本社:静岡県静岡市

工場: 藤枝工場(静岡県藤枝市) 大井川工場(静岡県藤枝市) 築地工場(静岡県藤枝市)

## 関係会社

## 国内

株式会社村上開明堂九州 株式会社村上開明堂コンフォーム 株式会社村上開明堂化成 株式会社エイジー 株式会社村上エキスプレス 株式会社村上開明堂ビジネスサービス

#### 海外

Murakami Manufacturing U.S.A.Inc.
Murakami Manufacturing Mexico, S.A. de C.V.
嘉興村上汽車配件有限公司
Murakami Manufacturing(Thailand)Co.,Ltd.
MURAKAMI AMPAS(THALLAND)CO.,LTD.
村上開明堂(香港)有限公司
Murakami Saikyu(Thailand)Co.,Ltd.
PT.Murakami Delloyd Indonesia
Murakami Corporation(Thailand)Ltd.

#### 株式情報

発行可能株式総数	· 29,900,	000株
発行済株式の総数	. 13,100,	000株
株主数		731名

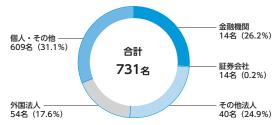
# 大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社豊英社	1,230	9.5
村上太郎	1,043	8.0
村上英二	1,005	7.7
ビービーエイチ フオー フイデリテイロー プライスド ストツク フアンド(ブリンシパル オール セクター サブポートフオリオ)	836	6.4
旭硝子株式会社	739	5.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	624	4.8
ロイヤルバンクオブカナダトラスト カンパニー(ケイマン)リミテツド	562	4.3
株式会社静岡中島屋ホテルチェーン	460	3.5
株式会社静岡銀行	459	3.5
明治安田生命保険相互会社	447	3.4

- (注) 1. 表示単位未満を切り捨てて表示しております。
  - 2. 出資比率は、自己株式172.659株を控除して計算しております。

#### 株式分布状況

#### 〈所有者別〉



(注)() 内の数値は、所有株式数の構成比率となります。

#### 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基 準 日 定時株主総会の議決権 3月31日

期末配当金 中間配当金 3月31日 9月30日

その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

公告の方法 電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いた

します。

http://www.murakami-kaimeido.co.jp/usIr/koukokuただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載

いたします。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

特 別 口 座 の 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

□座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

(電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全

国各支店で行なっております。



